

# 箱根町みらいデザイン会議【成年の部】実施結果

平成 26 年 9 月 22 日、30 日の 2 回にわたり公募により選出した住民、自治会等から推薦いただいた方 15 名で“箱根町みらいデザイン会議”を実施した。各グループの構成は下表のとおりであるが、グループの編成に当たっては、ワークショップでは年長者への遠慮から意見が出にくくなるケースがあることから、本会議では、意見が議論の活発化を図るために、世代別に編成したうえで、性別、地域による偏りがないように若干の調整を行った。

## 第 1 回箱根町みらいデザイン会議

第 1 回みらいデザイン会議では、冒頭に町長から「町を取り巻く現状は、少子高齢化や人口減少、財政運営の厳しさや、公共施設のあり方など多くの課題を抱えている。今こそ町民参加型のまちづくりが求められている。」「箱根町自治基本条例に基づき町民の皆様にもまちづくりに参画頂きながら、夢と希望に満ちた町となるような箱根町第 6 次総合計画を策定してまいりたい」とご挨拶を頂き、住民参画へのご協力をお願いした。



企画課長からみらいデザイン会議の概要をご説明いただき、㈱ぎょうせい研修員から“総合計画とはなにか”、“ワークショップとは”、“みらいデザイン会議の具体的な進め方”についてご説明した。

その後、参加者の自己紹介を行い、お名前等の他、最近気になることや、総合計画に望むことについてスピーチしていただいた。少子高齢化や子どもの教育問題に関心がある方が多く、その他「観光客と町民の共存が将来の課題」とのご意見もあった。

ワークショップでは、10 年後の箱根町が“どんなまちになってほしいか”というテーマで議論し、グループ毎に「将来像」を提案していただいた。

### 第1回みらいデザイン会議プログラム

	時間	目標	活動内容
第1回	18:00	オープニング 自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的・作業の流れ・ルールの説明</li> <li>自己紹介（居住地、仕事、私が今、一番関心があること）：各自2分</li> </ul>
	18:20	町の現状と課題の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>各人、2分、「活かすべき地域資源」「こんな箱根町に住みたい」「将来像」について意見発表</li> <li>模造紙記入</li> </ul>
	19:45 ~20:25	クロージング	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来像のグループ発表</li> </ul>

女性や若手住民の多いA班では、「こんな町に住みたい」というテーマについては、交通、商業施設、病院に関する意見が多く提示された。また、グループ内に子育て世代を多いこともあってか「学校や地域で子供たちがにぎやかに楽しく過ごせる町」といった意見も提示された。箱根町の伝統、自然を残しつつ、いかにして今日の社会環境変化に適応した町をつくるかといった視点で検討がなされた。



B班は、A班同様、交通機関や医療機関の充実、子どもたちが楽しく暮らせる町といった意見が多くあったほか、イノシシや自然等の現在未活用の資源を活かす視点、観光を中心とした産業育成の視点からの意見に特色があった。また、子どもたちの子どもたち（現在の子育て世代の孫）が暮らしやすい町はいかなる町かという長期的視点で検討した点も特徴としてあげられる。



C班でも同様に交通や病院に関する意見が多くあったが、C班の特色として、地域活動

の視点や自然を活かしたまちづくりの観点から意見が多くだされた点も挙げられる。グループ内に自治会の代表者や高齢者も多く、その地域特性の深い理解を活かした、箱根町の良さや資源を残す・活かす視点での意見が提示された。



## 第2回箱根町みらいデザイン会議

第2回みらいデザイン会議では、今後の町づくりに関するシンボル、箱根町の特徴を表すプロジェクトを考えていただくこととし、参加者には事前にプロジェクト案を考えてきていただいた。

参加者が各自で考え持ち寄ったアイデアを基に意見交換を行い、各グループで一つのプロジェクトをまとめた。

	時間	目標	活動内容
第2回	18:00	オープニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的・作業の流れ・ルールの説明</li> </ul>
	18:20	プロジェクト案の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>各人持ち寄ったプロジェクト案の発表・意見交換</li> <li>グループのプロジェクト案の検討</li> <li>模造紙記入</li> </ul>
	20:00 ~20:25	クロージング	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ発表</li> </ul>

A班では「古きを残し、新しきを造る街」という将来像を実現するプロジェクトとして「住みたい 来たい 働きたい プロジェクト」を提示。A班の特色としては、「町民」「観光客」「在勤者」という3つの視点で検討した点にある。それぞれ「町民は『住みたい』」「観光客は『来たい』」「在勤者は『働きたい』」と思うようなまちづくりを行うプロジェクトを提言。観光客が利用する宿泊施設等を在勤者向けの交流イベントの場として活用することや、廃校となった建物を活用するなど、既存の資源を新しい方法で活かす視点が特徴的かつ柔軟な発想であった。本プロジェクトでは、行政には事業者と連携した情報の発信が求められた。



B班は、将来像「覇気にあふれた子どもと自然のある町づくり」を実現するプロジェクトとして「豊かな自然を活用したまちづくりプロジェクト」を提示。有形の資源である「自然」に関する施策と、無形資源である「伝統・文化」に関する2つの施策を提言した。

美しい自然景観を有する箱根町では、既存の自然を守るだけではなく、地域住民と行政が協力して景観を積極的に守る取り組みが必要であると提示した。また、箱根町の伝統や文化を町内の子どもたちに受け継ぎ、箱根に「自信を持つ」ことができるようにすることが重要であると提言した。



C班は、在住人口が少しでも残り、できることなら増えて欲しいという思いで、将来像「豊かな自然の中で安心して住みたくなる町」を実現するプロジェクトとして、「箱根らしい自然環境を活用した職住近接の町づくり」を提示。職住近接を実現することで町外に働きに出る人の転出を抑制することができるという提言や、パーク&ライドとコミュニティバスを併せて実現することで、観光客・住民ともに利便性が向上するという提言は、新しいライフスタイルの提言であり、箱根町の抱える構造的課題の解決を意図するものである。また、下水道の整備については、下水道を引いていない家庭も良好な環境を享受しているフリーライダー問題を指摘し、より公平な負担や公益の実現を図るため、ペナルティ等のより強い推進措置が必要との意見も提示された。



班	メンバー	将来像	まちづくりプロジェクト
A	久保 由紀江 名川 壮平 端 千春 駒村 三枝 木下 泰司	古きを残し、新しきを造る街	住みたい 来たい 働きたいプロジェクト
B	椎野 篤 近藤 忠 千葉 哲也 金子 裕子 市川 正治	覇気にあふれた子どもと自然のある町づくり	豊かな自然を活用したまちづくりプロジェクト
C	山口 憲一 加藤 康夫 塩川 嘉昭 小野 美織 阿部 佳信	豊かな自然の中で安心して住みたくなる町	箱根らしい自然環境を活用した職住近接の町づくり

運営スタッフ	第1回	第2回
A班	鴻田 里織 (議会事務局)	畑 貴季 (財務課)
B班	辻満 陵一 (企画課)	鈴木 貴子 (健康福祉課)
C班	勝俣 浩之 (生涯学習課)	伊藤 和生 (観光課)
運営スタッフ	勝俣企画観光部長、栢沼企画課長、村山副課長、斎藤企画調整係長 (働き方)： 矢野、伊藤、安武、中村	

# A班

## こんな町に住みたい

### 安全・便利

いろんな世代が楽しめる観光地

安全に暮らせる町

交通が便利になってほしい。バス・電車、地域のバス

子どもが安全に遊べる町

バスのターミナル駐停車のところを広くして道路を整備してほしい

除雪事業機関の増加（大雪の際）

最終バスの時間をもう少し遅くしてほしい

歩道含む道路幅の拡大

交通の利便な町

### にぎやか

近所同士気軽に声かけ合える町

子どもたちがスポーツに取り組める町

教育の面でもう少し箱根町からのお金をお願いしたい。

学カ・スポーツに特化した学校のある町

にぎやかで楽しい町

にぎやかで活気のある町

子どもの声がる

学校のクラスが1クラスでなく2クラス以上で子供の人数が増えてほしい。

### あったらいいな

総合病院をお願いしたい

専門病院のある町

医療機関の拡充

遅くまで買い物のできる町（大型スーパー等）

商業施設を増やしてほしい

総合病院のある町

観光客向けでなく町民向けの飲食店の増加

子どもたちが安心して遊べる公園・施設のある町

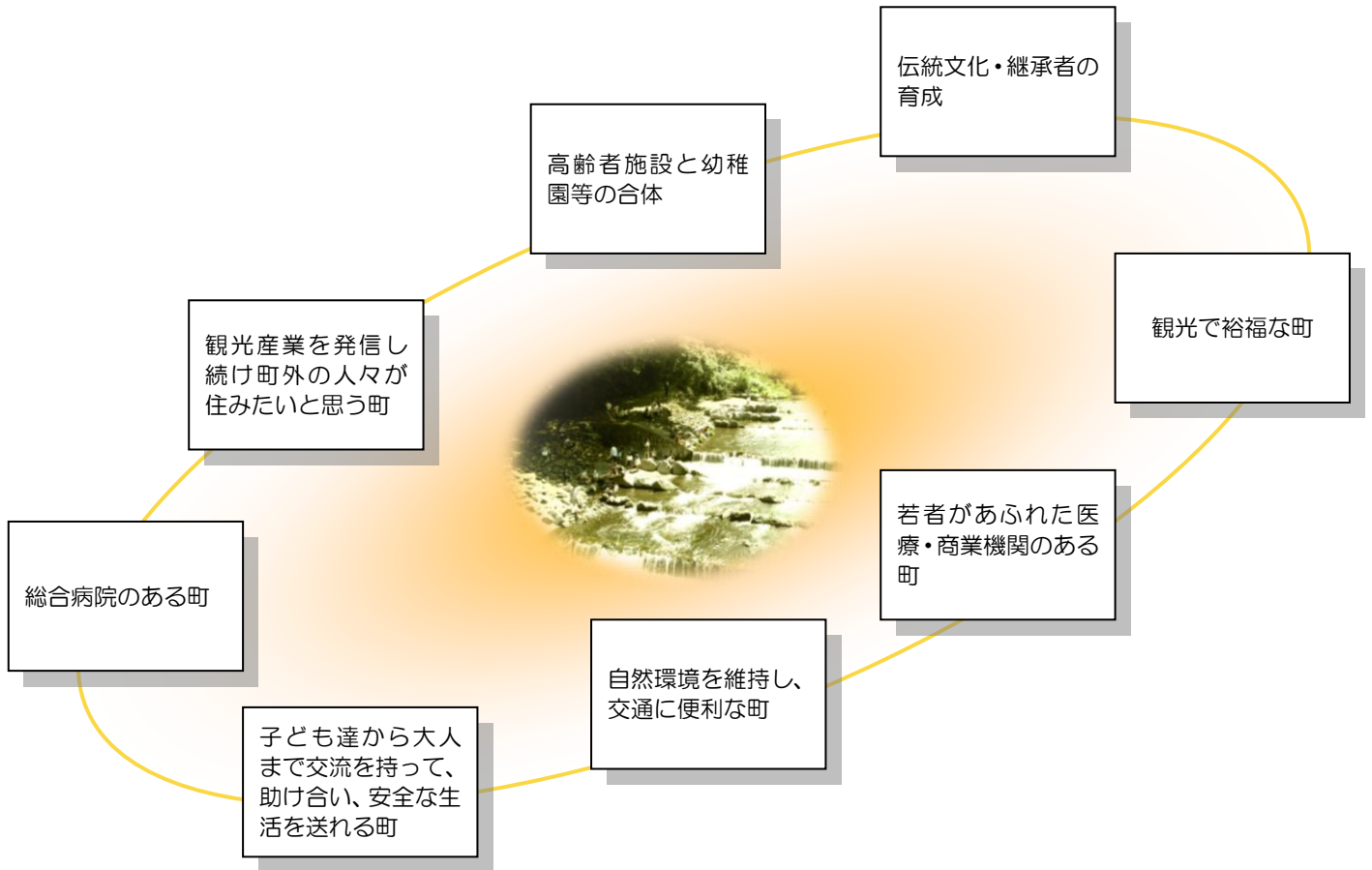
総合的なスーパーを

役場を箱根の中心にしてほしい

大きい図書館のある町

## A班 将来像

# 古きを残し、新しきを造る街



# A班

## 活かすべき地域資源

### しぜん

広大な町面積	石だたみ (畑宿)	緑	大涌谷	芦ノ湖
豊かな景観・自然	すすき	温泉	金子さんの家のと ころ 宮ノ下	山登り

### たから

自分家の子ども達	子ども	箱根駅伝	小さい町なので、顔 見知りな関わり温 かい人間関係	おじいちゃん おばあちゃん
	すなおな心	あいさつのできる 子	小規模の細やかな 教育・指導	

### ぶんか

大名行列	大文字焼き	観光産業	寄木細工
------	-------	------	------

### 箱トク【箱根の特産】

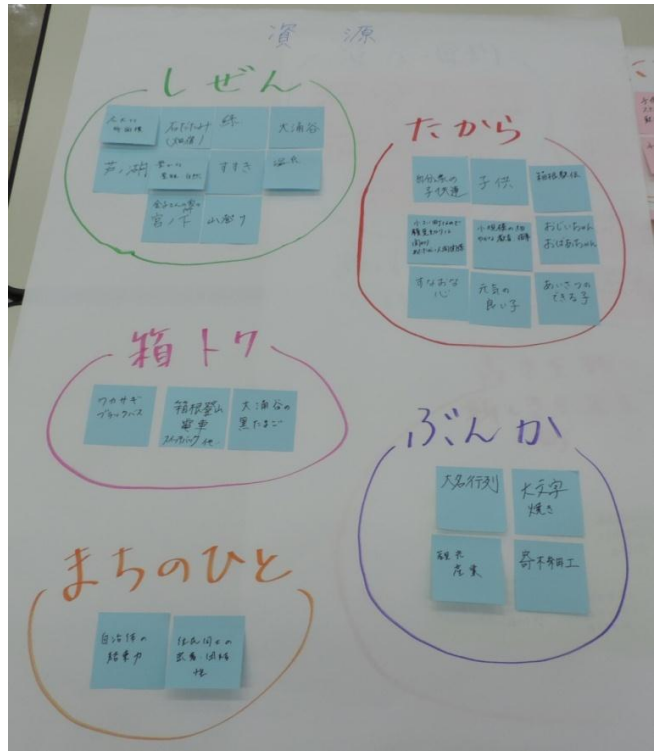
ワカサギ ブラックバス	箱根登山電車・スイ ッチバック他	大涌谷の黒卵
----------------	---------------------	--------

### まちのひと

住民同士の結束力	自治体の結束力
----------	---------



将来像	古きを残し、新しきを造る街		
プロジェクト	<u>住みたい</u> <u>来たい</u> <u>働きたい</u> プロジェクト		
目標とする成果	町民	観光客	在勤者
	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通や生活の利便性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光産業の維持と発展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤務時間外の余暇の提供</li> </ul>
実現方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関の充実（企業との連携）</li> <li>医療・福祉施設の複合化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統文化継承者の育成</li> <li>観光名所の発掘</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントを通じ、交流、出会いの場の提供</li> </ul>
活用する地域資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃校となった建物 →温泉小学校・湯本中学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町全体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内の宿泊施設等</li> </ul>
住民と行政の役割分担	民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>在勤者向けの交流イベント企画の運営</li> </ul>	
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間団体と連携し、情報発信</li> </ul>	



まちの将来像	古きを残し、新しきを造る 街	
プロジェクト名	住みたい、新しい 働きたいプロジェクト	
内容	町民...交通や生活の利便性の向上 観光客...観光産業の維持・発展 在郷者...勤務時間外へのサービスの提供	
地域資源を生かしたまちづくり	方法	町民...公共施設等の活用(企業連携) 観光客...伝統文化体験の育成 在郷者...イベントを通じた交流・お見舞いの提供
活用する地域資源	町民...榊林町、正建町 観光客...町全体 在郷者...町内の宿泊施設等	
住民と行政の役割分担	民間...在郷者向けの交流イベントの企画・運営 行政...民間団体との連携	

# B班

## こんな町に住みたい

### トラフィック・スムーズ

道路交通網の整備

交通の便が良い町

季節・時期の交通渋滞の解消

### 健康

医療機関の充実

医療の充実

### 風景美

いつまでも美しい箱根であってほしい

湯本の駅前の（再）開発

観光客がもっと大勢来る町

殺風景な町並み景観の解消

街路樹を作る

### 楽しい町

子供の遊べる広場

子どもがたくさんいる町

もう少し文化面があるといい

世代間の交流が活発な町

暖房費が年2万円で済む住みやすい町

水辺（芦ノ湖）で遊べる施設

子どもの育てやすい町 教育

子どもが生き生きとしている町

近所づきあいのある町

エコな町

### コミュ

### ECO

### 活力

商業の規制がない町

日用品が町内で購入できる

産業で競争原理が働きサービス向上する町

大型スーパーのある町

国際都市になってほしい

情報化が進んでいる町

観光以外で食べていける町

おいしい食べ物を出す飲食店のある町

## B班 将来像

# 覇気にあふれた子どもと自然のある 町づくり

### ハ 覇気にあふれた

町内に働く所があり働くことが出来る

いろいろな人と出会いがある町

地域のつながりが強い町

### コ 子ども

鯉のぼりが泳ぐ町

子ども手当がある町

子どもが元気な町

にぎわいがある町

子育てがしやすい町

住みやすい町 医療

### ネイチャー 自然

美しい自然が残ってほしい

自然とエコが共存する町

自然が豊かな町

日本の観光の（ハブ）スタート地点

# B班

## 活かすべき地域資源

### 観光

猪を食べられるようにする

交通（乗り物）ロープウェイ、観光船、電車

観光

釣り  
（小田原の海、川、湖）

河川整備

猪を食べるなど。たくさんいるので捕まえてからどうなっている？

観光客

### 自然

温泉・水

空気

温泉

自然【芦ノ湖と富士山】

天然資源の活用  
（水・地熱・天候）

### イベント

箱根駅伝

駅伝

獅子舞

花火

### 歴史

古い町並

宿場町（歴史）

関所

神社お寺

祭りの統一

歴史

箱根里

### 資源の再生

廃校の利用

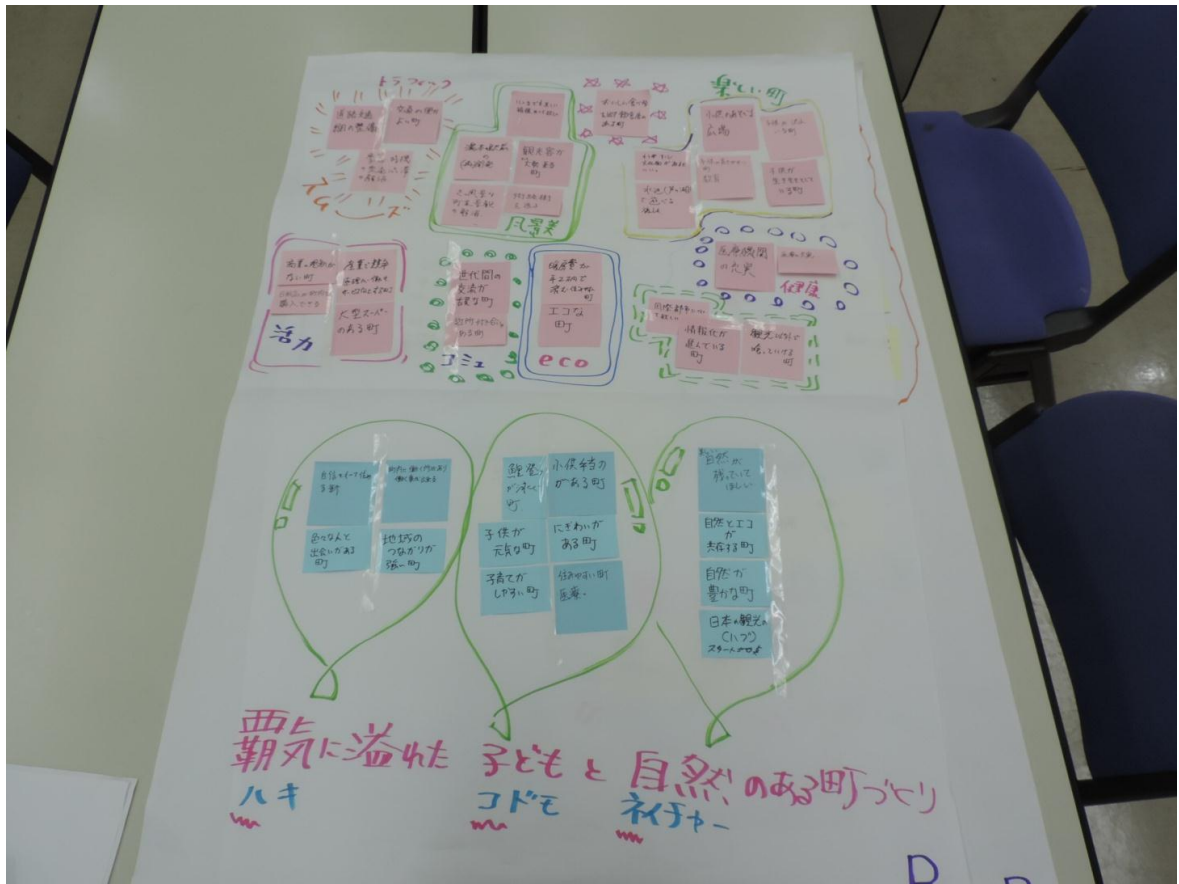
空き家  
空き地

### 魅力

芸能（芸者さん）

伝統芸能

将来像	ハ コ ネ (イチャー) 覇気にあふれた子どもと 自然のある町づくり		
プロジェクト	豊かな自然を活用したまちづくりプロジェクト		
目標とする成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各地域に特色があり、四季に応じた自然景観</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 箱根の歴史・文化を理解し、箱根が大好きな子どもの育成</li> </ul>	
実現方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ いつの季節に箱根に来て、楽しめる自然や植物があるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (子どもたちが) 地元ボランティアの方々に箱根の歴史・文化を学ぶ</li> </ul>	
活用する地域資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自然</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各地域で活躍している方々</li> </ul>	
住民と行政の役割分担	住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 景観維持の為の手入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 伝統文化の継承</li> </ul>
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 植物等の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 伝統文化の情報収集と提供</li> </ul>



まちの将来像	朝元に溢れた子どもと自然のあふ町づくり ハキ コドモ ネチャー	
プロジェクト名	豊かな自然を活用したまちづくり	
内容	各地域に特色があり四季に合わせた自然の景観づくり 箱根の歴史文化を理解し、箱根の大好きな子供を育てる	
地域資源を生かしたまちづくり	方法	いつの季節にも箱根に来て楽しめる自然や植物がある 地元のボランティアの方々に箱根の歴史・文化を学ぶ
	活用する地域資源	自然 各地域で活躍している方々
住民と行政の役割分担	(住) 景観維持の為に手入れ (行) 植物等の提供 (住) 伝統文化の継承 (行) 伝統文化の情報収集と提供	

# C班

## こんな町に住みたい

### 買い物

店の多い町になっ  
てもらいたい

商店がある

買い物が便利な町

### おもてなし

「おもてなし」の行  
き届いた住民の対  
応

### コミュニティ

住民同士のコミュ  
ニケーションが取  
りやすい

小学校等の統合に  
より学校行事に参  
加できにくい

高齢者と子供(子育  
て世代)の往来を  
図る(子育て支援セ  
ンター)

### 仕事

女性が働きやすい  
環境が整っている

若い人が働ける街  
にしたい

### 子育て

中学校が湯本にで  
きるような人口に

子どもがたくさん  
いる

子どもを中心とし  
たテーマを作る

子育ての年代が多  
く住む

子育てサポート制  
度が充実している

子どもの多くの大  
きな声で遊ぶ現状  
を見たい

### 交通

コミュニティバス  
が走っている

高齢者が町内を自  
由に行き来できる  
交通機関を整備す  
べき

全山共通電車バス  
パスの発行

高齢者(70歳以  
上)のバス代がただ  
になるように

箱根町の鉄道がネ  
ットワークを作る

### 活力

商業の規制がない  
町

日用品が町内で購  
入できる

産業で競争原理が  
働きサービス向上  
する町

### 公共施設

自転車専用道があ  
る

災害時の道路の確  
保が出来る(大雪)

図書館がある



## C班 将来像

豊かな自然の中で安心して住みたくなる町



# C班

## 活かすべき地域資源

### 伝統芸能

獅子舞

芸者

### 生き物

ハコネサンショウ  
ウオ

ヒメハルゼミ

ほたる

### 豊かな自然

空気

花木

河川に魚の住む町

仙石原湿原

河川を守る

湖

緑

温泉

地熱

国立公園  
山  
芦ノ湖

水 清流

森林コモレピ

### 歴史・文化

大名行列

神社

甘酒茶屋

石仏

箱根神社

寄木細工

石だたみ

### 地域のつながり

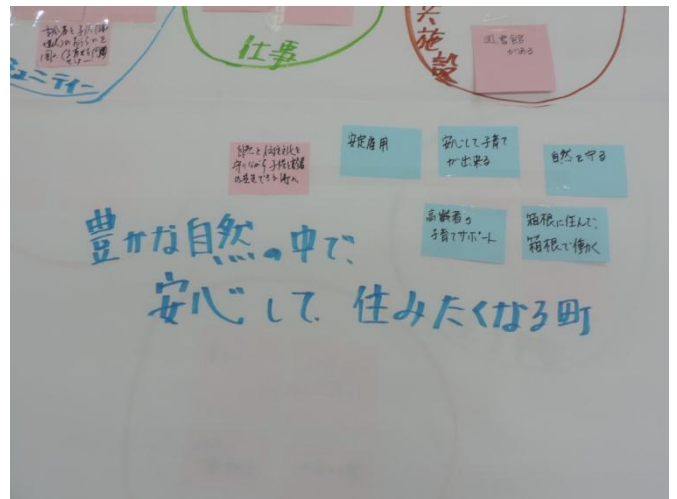
夏祭り

子どものみこし

地域の運動会

地域のお祭り

<p>将来像</p>	<p>豊かな自然の中で安心して住みたいくなる町</p>	
<p>プロジェクト</p>	<p>箱根らしい自然環境を活用した職住近接の町づくり</p>	
<p>目標とする成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 働く場の創造</li> <li>■ 定住環境の整備</li> </ul>	
<p>方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ パーク&amp;ライドの実施</li> <li>■ コミュニティバスを運用し、観光客・町民双方が利用</li> <li>■ 手芸等の箱根ブランド創造による職場の提供及び観光客誘致</li> <li>■ 河川の環境改善</li> </ul>	
<p>活用する地域資源</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域住民</li> <li>■ 駐車スペース</li> <li>■ 温泉</li> <li>■ 民間バス</li> <li>■ 清流</li> </ul>	
<p>住民と行政の役割分担</p>	<p>民間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外部と地域をつなぐ役割の担う</li> <li>■ 法令順守</li> <li>■ コミュニティバスの積極利用</li> </ul>
	<p>行政</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外部資本企業には地元住民を雇用することの制度化</li> <li>■ 下水道環境の整備、指導徹底、(未整備に対する) 厳罰化</li> </ul>



まちの将来像		豊かな自然の中で 安心して 住みたくなる町	
プロジェクト名	箱根らしい自然環境を活用した 職住直接の町づくり		
内容	箱根らしい自然環境を活用した 職住直接の町づくり		
方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>パーク＆ライドの実施</li> <li>コミュニティバスを運用し、観光客・町民をバスで活用</li> <li>箱根ブランド創出による職場の提供及び観光客の誘引(子育て)</li> <li>河川の環境改善</li> </ul>		
地域資源を生かしたまちづくり			
活用する地域資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民</li> <li>温泉</li> <li>清流</li> <li>馬車バス</li> <li>民間バス</li> </ul>		
住民と行政の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>行 外部資本企業には、地元住民を確保することの副産化</li> <li>民 外部と地域を巧く役割を担う</li> <li>行 下水道環境の整備, 指導徹底, 厳罰化</li> <li>民 法令遵守</li> <li>民 コミュニティバスの積極利用</li> </ul>		